

花きの県別生産出荷概況(9月見通し)

品目	県名	作付面積ha (前年比)	主な品種	9月出荷見込み 千本		主産地	9月のピーク		
				全出荷量	京浜地域		上	中	下
ば ら	栃木県	12 (94%)	ローテローゼ レッドスター ノブレス	500 (110%)	480 (110%)	宇都宮 小山	20	30	50
	群馬県	19 (100%)	ローテローゼ ティケネ ノブレス ピビアン マレーラ	950 (100%)	675 (100%)	利根沼田 前橋市 甘楽富岡	25	35	45
	千葉県	3.6 (100%)	サムライ、ザ・テレサ、ローテローゼ ノブレス	140 (100%)	110 (100%)	鴨川市	30	30	40
		3.5 (100%)		-	-	茂原市	20	40	40
	山梨県	4.1 (91%)	ローテローゼ サムライ	340 (97%)	310 (97%)	笛吹市 (御坂町)	40	30	30
	静岡県	40 (95%)	サムライ アヴァランチェ テレサ	1,300 (95%)	1,100 (100%)	JAしみず JA大井川 JA掛川市 JA遠州夢咲	30	30	40
愛知県	- -	サムライ08 レッドスター アヴァランチェ フレアー ペイブ	2,500 (101%)	1,000 (101%)	JA愛知みなみ JAひまわり JA豊橋 JA西三河	35	30	35	
トル コ ギ キ ョ ウ	青森県	7.6 (108%)		500 (106%)	300 (106%)		40	30	30
	秋田県	10.8 (104%)	ロジーナシ リーズピッコ ローサシリーズ セレモニーシ リーズ	645 -	387 -	かづの、秋田しんせい 秋田おぼこ、おものがわ 秋田ふるさと こまち、うご	30	30	40
	山形県	30.4 (101%)	ロジーナシリーズ、エクロサシリーズ ピッコロサシリーズ、セレモニーシリーズ ファイナルシリーズ、ホージャシリーズ	934 (86%)	732 (86%)	JA新庄市 JA新庄もがみ JA山形もがみ JA鶴岡 JA庄内たがわ	40	30	30
	福島県	10.6 (92%)	白八重 ピンク八重 パス紫	600 (98%)	480 (98%)	あいづ 会津いいで 会津みどり	30	40	30
	群馬県	6.0 (60%)	ひこ星 織り姫 ロジーナシリーズ つくしシリーズ	60 (60%)	30 (60%)	利根沼田	30	35	35
	長野県	- -	八重各品種 パステルムラサキ パステルピンク	2,500 (103%)	660 (103%)	北信 松本 伊那 諏訪	35	35	30
ス プ リ	秋田県	5.2 (121%)	アマデア セイエルザ セイエーゲ キャンパス	250 -	100 -	秋田やまもと 秋田しんせい 秋田おぼこ 秋田ふるさと	40	35	25
	栃木県	73 (106%)	オランダ系 精興園	2,250 (112%)	800 (112%)	真岡 塩谷 鹿沼 那須	40	40	20

レ ー 菊	群馬県	37 (100%)	鞠風車 セイエルザ レミダス	1,870 (100%)	1,430 (100%)	あがつま 利根沼田	25	50	25
	愛知県	- -	エース エーゲ レモンクラリス 巴風車 ユーミン	6,700 (102%)	2,800 (102%)	JA愛知みなみ JAひまわり	35	35	30
ア ル ス ト ロ メ リ ア	長野県	- -	アニー・アメリカ・コルサ・ジュリエット ローズ・シルクロード・ピンクシルクロード ・メグ・ブラドミント・オレンジマジック・ パックス・こまち・アモーレ・バーバラ・ミ ルキーウェイ・LPバーバラ・グリーン ティ・オータム・イマジン・ボレロ	6,980 (100%)	3,250 (100%)	佐久 諏訪 松本	40	35	25

品目	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
ばら	今後の天候にもよるが、猛暑だった昨年に比べて出荷量は増える見込み。	<b>現状</b> 一週目は入荷量少なく、引き合いも強かった。二週目以降は、お盆納品が多く相場は崩れた状況。高冷地は後半にかけて増加傾向。暖地は出荷調整も有り、入荷量は少なめ。お盆後は、プライダルフェア等の注文で引き合いがやや強まった。
	作柄は平坦地、山間地ともに並。特に病害虫の問題もなく、平年並みの出荷量を見込む。	<b>見通し</b>
	生育は順調。夏期剪定後の出荷が始まる。	大田花き 暖地は下位等級中心に増加傾向。高冷地は横ばいの見込み。敬老の日のシルバーウィークでプライダル等の注文が多くなる見込み。輸入品に関して敬老の日へ向け増加傾向。
	天候の変化に対応し、秋の需要に向けての管理を行っており、生育は順調。今後気温が落ち着けば更なる品質の向上が見込まれる。	FAJ 休んでいた産地の出荷が始まるが暑さ次第。入荷量は中旬に向けて徐々に増える見込み。
	タバコガ、コナジラミ類の発生が多い。猛暑のわりには生育は昨年並みか若干良好。	第一花き 業務需要中心の流れ、需要もない時期で厳しい @80
	下階級の出荷が多い状況。9月についても例年通り40-50cmクラス中心の出荷となる見込み。数量的には、生産者減、面積減から出荷量は減少する見込み。	東京フラワーポート 若干だがプライダル、イベント等の引き合いが見られる。 東日本板橋花き 南西産地の出荷が始まり、入荷量は徐々に増える。
トルコギキョウ	生育は概ね順調だが、開花お呼び収穫期は例年よりもやや早めになっている。病害の発生は少ないが、アザミウマ類の発生が見られる。	
おものがわ: 若干の遅れあり こまち: 6月定植分が出荷となるが、遅れもなく、生育は順調。	<b>現状</b> 昨年に比べ大幅な前進も無く安定した出荷であったが、中旬に入り長野、山形がピークを越え減少した。販売面では花保ちも良い品目であることから他品目に比べ安定した取り引きとなった。	
高温で経過しているため、生育は平年よりも前進傾向である。出荷量は、前進集中出荷となった昨年よりも少ない見込み。病害虫の発生は少なく、切り花品質は良好と見込まれる。	<b>見通し</b>	
抑制物が草丈20~60cm程度で、生育は概ね順調であるが、一部で青枯病や苗の株腐症状の発生が見られる。草丈が短くて花が咲いたり茎が細かいことから、草丈の確保や草姿の充実を図るため花摘みが行われている。	大田花き 各産地、例年並みの出荷が見込まれる岩手、福島、長野、北海道主体の入荷となる。販売面ではお彼岸、プライダル需要中心に活発な取り引きが見込まれる。	
作柄は並。 作付け面積減により出荷量減。	第一花き 入荷状況にもよるが、業務・彼岸需要で安定した流れ @100 FAJ 高温の影響でやや前進する見込み。下旬からの婚礼需要期にやや少なくなる見込み。	
彼岸向けは残暑が厳しくなければ彼岸向けは順調な出荷を見込む。	東京フラワーポート イベント等の需要も多くなり動きは良くなって来る。 東日本板橋花き 9月は全体的に増えてくるが需要期と重なり保合い。	
スプリ	だいたい夜温も下がりが、お彼岸向けは生育順調。このあとの天候次第だが、13~15日には出荷の予定。	<b>現状</b> 国産に関しては若干の遅れは見られたものの8日前後に出荷ピークを迎え安定した取引で推移した。輸入品については天候不順もあり、入荷は例年より少なめで推移。盆以降は出荷の大きな山も無く、大きく相場を崩すこともない状況
生育は概ね順調。 計画的に出荷される見込み。	<b>見通し</b> 大田花き 前半は大きく増えることは無く、彼岸期に向けて徐々に増加してくる。16日前後がピークとなる見込みで引き合いも強くなる。その後は需要も落ち着きやや厳しい相場展開が予想される。	

レ ー 菊	8月は露地を中心に、開花遅れ傾向。9月の作柄は平年並みの見込み。	<p>第一花き 業務・彼岸需要中心の流れ、品質・品種による単価差がでる @55</p> <p>FAJ 彼岸に向け出荷量増加予定。引き続き愛知・栃木中心の入荷。</p>
	<p>輪菊同様の作柄。 昨年よりはやや増加する見込み。 上旬から数量は増加予定で、下旬はやや少なくなる見込み。</p>	<p>東京フラワーポート 品種によっては引き合いが良い物も見られる模様。</p> <p>東日本板橋花き 彼岸需要が多い割に入荷量が少なくなる見込み</p>
ア ル ス ト ロ メ リ ア	作付けやや減少。1番花のピークは過ぎたが、8月は安定数量出荷を見込む。	<p><b>現 状</b> 主産地の愛知はお盆需要期に向けて若干増加したが、株養成中のため真夏の出荷本数が少量。高冷地の北海道、山形も気温は高く、6～7月で数量があったことから8月中は少量の出荷。業務需要中心に中値で安定した相場展開となった。</p> <p><b>見 通 し</b> 夏の間、出荷を休んでいた茨城、福島、長野が徐々に始まり、愛知、山形も気温が下がるにつれて出荷数量は増加傾向となる。品種数も増え始め、需要も徐々に伸びていくことが予想される。 250,000本 @75</p>